北九州市立八幡病院広報誌



2019

第**28**号



Index

巻頭言 · · · · · · · 1−2	患者満足度調査(外来) · · · · · · · 7-8
連携医療機関のご紹介・・・・・・・3	編集後記 · · · · · · 8
新病院アピールポイント・・・・・・・・ 4-6	診療体制 · · · · · · · 9

YAHATA HOSPITAL NEWS

卷頭言

院長伊藤重彦



新年あけましておめでとうございます。今年もど うぞよろしくお願い申し上げます。

八幡病院は昨年12月22日に新病院に移転しました。本号は新病院になって最初の広報誌となります。 記事を通じて新病院の機能や特徴の一部をご紹介 させて頂きます。

新病院は、①救命医療、②小児救急医療、③災 害医療を政策医療の3本柱に掲げ、総合的な診療 体制を維持しながら、地域住民の皆様方に役立つ ような病院を目指しています。なかでも小児救急医 療は昨年ご逝去された故市川光太郎先生が地域 最大規模の機能に育て上げられ、全国一充実し た30名以上の小児科医が集う診療体制です。1階 の小児救急センターは年間5万人以上の外来患者 に対応でき、5階の小児病棟真ん中には、青空に 続く入院患児のための憩いの広場があります。市 川先生の思いが詰まった見事な設計と機能です。 10トンの離陸加重に耐える県内屈指の屋上へリ ポートは、海上保安庁の大型へりも離発着可能で、 災害医療作戦指令センター(DMOCシステム)と 共に、充実した災害医療支援が可能となります。 また、多発外傷等に迅速に対応できるよう、CT検 査、血管造影検査 (バイプレーン) と緊急手術が 同時にできる西日本初のハイブリットオペレーション ルームを設置しました。センター機能も充実しており、 救命救急センター、小児救急・小児総合医療セ ンター、災害医療研修センター、消化器・肝臓病 センターに加え、新たに心不全センター、外傷・ 形態修復治療センターも設置し、多機能病院とし て今まで以上に地域に根ざした医療が提供できれ ばと思っています。

最後になりましたが、新病院開院直前にご逝去された故市川光太郎院長先生、故野口雅夫前副院長先生のお二人とは、私が八幡病院に赴任した時から30年以上に渡り一緒にお仕事をさせて頂きました。心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、お二人のご期待に添えるよう職員一同がんばってまいります。

なお、ご遺族のご了解を得て、市川先生が生前に書き残された新病院へ向けたメッセージを次ページに掲載させて頂きました。ご一読頂けると幸いです。

皆様方におかれましては、今後とも新病院への ご支援を賜りますよう、よろしく御願い申し上げます。

基本方針

- 1. 医療の安全に万全を期し、科学的根拠に基づく、質の高い医療を提供します。
- 2. 患者さんの生命の尊厳とプライバシーを守り、患者さん中心の医療を行ないます。
- 3. 保健・福祉・医療機関と連携し、地域社会への積極的な医療貢献を果たします。
- 4. 教育・研鑽に努め、専門的な知識、熟練した技能をもって、信頼と責任ある医療を提供します。
- 5. 公共性、経済性を考慮した健全経営に努めます。

- 生前に書かれた12月8日開院記念式典用挨拶原稿の抜粋 -

現病院西棟が1988年に、東棟が1993 年に新築され、それぞれに40年、35年 経ちました。色々な施設基準が施行され る前で古さが目立つ状況で、自然災害が 増えてきたこの時期の新病院の建て替え にはとても有りがたい気持ちで一杯です。 新八幡病院の建て替えに向けて、尽力し て頂き、今があると、心から、歴代の市 幹部、県議会・市議会の先生がた、医 師会の皆さまがたに、感謝いたします。

新病院は救命救急・災害医療、小児 総合救急医療などの政策医療に加えて、 成人二次救急医療を行い、医療機関連 携を諮り、市民の皆さまにお役に立ちた いと願っています。最大公約数の市民の 皆さまが、さらに診療所の先生がたが、 受診・来院・紹介しやすい「敷居の低い」 病院として体感できる施設にしたいと思っ ています。すなわち、透明化・オーダー 化に富んだ診療が市民の皆さま、開業の 先生がたに実感できる病院でありたいと考 えています。

加えて、新病院に求める診療機能のコ ンセプトは患者・家族に、開かれた、ホッ とできる、心ある「和みの空間」を感じて 貰えるような診療が提供できることです。 そのような病院運営を行っていきたいと 思っています。受診された市民の皆さま が「もう一度受診したい」と思うような病 院の雰囲気作りを行い、地域の「ヒーリ ングスポット」になり、新病院ができて地 域が変わったと実感して欲しいと願って います。

一般小児救急~Common diseaseを診 ない「子ども病院」は子どもや保護者の ための医療を行う施設ではなく、単なる 大学のミニチュア施設と私自身は思って 来ました。施設内全診療科が救急~ Common diseaseを診る姿勢の中で、は じめて、総合小児救急医療も実現可能で す。新病院でも今まで通り全診療科と協 働診療を行い、子ども達中心の医療を小 児科医がコアリーダーとして実践していき たいと思っています。地域の子ども達と保 護者はもちろん、市民の皆さまがいつでも、 何の症状であっても、納得できる受診が でき、満足して診療が終え、入院して良 かった、色んな勉強・経験ができたと思っ て貰えるような、子ども達と保護者達の、 市民ための「ユートピア」にしたいと願っ ています。



連携医療機関のご紹介



TEL.093-281-5515

〒811-4231

福岡県遠賀郡岡垣町海老津2丁目7番6号

診療科目

小児科・アレルギー科



去る10月11日、市立八幡病院院長の市川光太郎先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

私は平成8年に八幡病院に赴任致しました。当時は10人程の医局員が在籍しており、市川先生の外来が終わると全員一緒にFMNHKの歌謡スクランブルを聞きながら和気藹々と昼食をとっていたことを思い出します。市川先生の一生懸命なその姿と豊富な知識と臨床経験に圧倒されながら、同世代ではありますが臨床医として多くを学ばせていただきました。

その後、平成11年11月1日に岡垣町で開院し今年で早20年を迎えます。申年生まれなので医院のキャラクターはおさるのもんちゃんにし、子供達と等身大のもんちゃんが医院出入口でお出迎えとお見送りをします。おかげでもんちゃん先生やらおさるの病院やらと呼ばれています。(開院当初は動物病院だと思われていたようですが。)

岡垣町は北九州医療圏の最西方に位置します。子供が入院出来る病院が近隣に不十分な為、1次ではなく1.5次まで診る医院でありたいと頑張っているつもりです。しかしここで頑張れるのも、八幡病院という支えがあるおかげです。宗像市や福津市からの患者さんも多く、その中には福岡方面の病院を希望される方もいらっしゃいますが、一度八幡病院に入院された方はまた八幡病院を希望してくれます。これも八幡病院の先生方に市川イズムがしっかりと根付き、安心と信頼できる医療が提供できているからだと思います。

この原稿を書いている今は八幡病院移転前ですが、これを皆様が目にしているのは新病院が稼働し少し落ち着き始めた頃でしょうか。八幡病院の唯一の弱点だった(患者さんの意見ですよ)古い病棟が新しく綺麗になります。これからも地域で一番の病院として益々発展されることと信じております。これからも勉強会や症例検討会も積極的に参加したいと思っておりますし、還暦も過ぎ高齢者枠に入って参りましたが私にできることは微力ながら協力させていただきたいと思っております。引き続き密な連携をお願いします。

くわのキッズクリニック 院長 桒野 聡

診療時間	月	火	水	木	金	±
9:00 12:30						\bigcirc
14;30 18:00	0	0	0	_	0	\triangle

※土曜午後は健診と予防接種(予約制) 休診日/毎週木曜午後・日曜・祝日

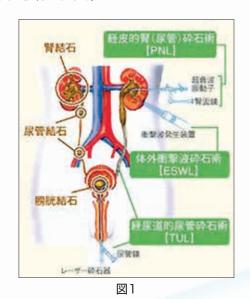


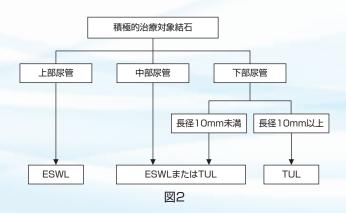
結石治療について

尿路結石症は、非常に罹患率の高い疾患であり、生涯 罹患率は男性で15%、女性で7%と言われています。実 に、男性の7人に1人、女性の15人に1人が一生に一度 は尿路結石に罹患することになります。

経験された方はわかると思いますが、非常に「痛い」 病気です。生命に関わることは稀ですが、「死ぬかと思 うほど痛かった」と表現される方も多くいらっしゃい ます。

径が4-5mm以下の結石は自然排石される可能性が 高く、疼痛コントロールしながら排石を待つのが原則 ですが、サイズの大きな結石やなかなか排石されない ケースでは、図1のような破砕手術の適応となります。 その中核をなすのが、ESWL(体外衝撃波結石破砕術) とTUL(経尿道的尿管結石砕石術)です。(図2のような 使い分けを致します。)





当科では、2018年8月より、硬性尿管鏡(R.Wolf 8/9.8Fr硬性鏡)、軟性尿管鏡(R.Wolf Cobra-M)およ

泌尿器科医師 松本 博臣

びYAGレーザー装置(Dornier Medilas H Solvo)を 導入し、TULを行っております。徐々に症例数も増えつ つあり、患者様の満足度も高い手術です。特に、軟性尿 管鏡を用いたTUL(f-TUL)では、腎盂腎杯に存在する ような上部の結石も逆向性に砕石可能であり、従来と 比較し低侵襲な手術が可能です。(写真1)

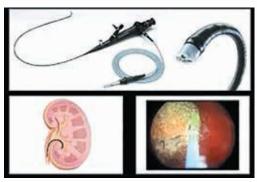
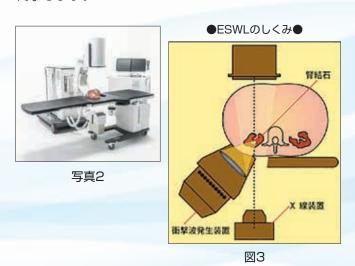


写真1

また、新病院には結石破砕装置(Dornier DeltaⅢ. 写真2)を設置予定で、ESWLも当科で可能となります。 この破砕装置は2018年8月に販売開始となった最新 機種で、安全性を保ちながらよりpowerfulな破砕が可 能となります。基本的には外来手術で、患者様のQOLを 維持しつつ治療が可能となります。図3のように、仰臥 位で背側から結石に向けて衝撃波を照射し、1時間弱で 終了します。



ほぼ全ての結石に対して、当院で治療を完結できる ようになります。積極的に結石治療を行っていく所存 です。今後ますます、ご支援を賜りますよう、よろしく お願い申し上げます。

小児救急・集中治療センターの役割

小児科医師 小林 匡

1.はじめに

新八幡病院の特徴は、より質の高い医療を24時間提 供するため、柱である救急医療、小児医療、災害医療の3 つの体制を整備・強化したことです。小児医療は、小児 救急・小児総合医療センターとして小児総合診療部を 中心とした体制となります(図1)。現在の小児救急セン ターは小児救急・集中治療センターとして、専従医師を 配置したり、2019年春には小児に特化した集中治療 室(PICU)を開設したりと今までの体制を刷新します。

では専従医師・看護師を中心に多職種が一丸となって チーム医療を展開することで、小児の重症管理において も質の高い医療を提供することが可能となります。

当センターの役割は、重症管理とチーム医療の実践 の他にも、院内急変にも対応します。当院では2011年 より外来・入院問わず重症化の徴候を早期に認識する ための小児早期警告スコア(PEWS)を用いたトリアー ジシステムを導入し運用してきた実績があります。新 病院でもこのシステムを利用して、専従医師により早 期に適切な介入を迅速に行う体制を整備します。



地域連携 重症患者 1~3次救急 集約化 外因性疾患にも対応 病院間搬送 院内急変対応 シームレスな連携

図2 小児救急・集中治療センターの特徴と役割

2.小児救急・集中治療センターの特徴と役割(図2)

当センターの特徴は、内因系・外因系を問わずすべて の急性期疾患に専従医師を中心としたチームが対応す ること、そして、救急室における重症小児患者の初期診療 から集中治療室での重症管理までシームレスな連携で 一貫した治療が実施できるようにしたことです。PICU

3.キーワードは「集約化」と「地域連携」(図2)

小児の重症管理において専従医師の配置1.2の他に、 PICUへの集約化3.4により生存率が改善する可能性が 文献的に示されていますが、小児の重症患者管理に関し て福岡県全体を統率する小児専門病院はありません。現 在、各医療圏で発生した重症患者は地域の小児科医が管 理をするか、大学病院へ転送して管理していますが、大

- 1 Pollack MM, et al. Impact of quality-of-care factors on pediatric intensive care unit mortality. JAMA. 1994; 272(12): 941-46. 2 藤原直樹ら、小児集中治療専従医配置が患者予後に与えたインパクト、日本集中医誌、2016; 23: 301-5.
- 3 Farrel LS, et al. Severity of injury and mortality associated with pediatric blunt injuries; hospital with pediatric intensive care units versus other hospitals. Pediatr Crit Care Med. 2004; 5: 5-9.
- 4 武井健吉ら、小児重症患者の救命には小児集中治療施設への患者集約が必要である. 日救急医会誌. 2008: 19: 201-7.

学病院で対応できる数にも限りがあります。現時点で は、医療圏ごとに集約化し完結できる症例は地域で対応 しつつ、最重症患者を大学病院などへ転送させるという 2段階の集約化が望ましいと考えています。

この集約化に欠かせないのが地域連携です。新病院 では屋上ヘリポートの設置により長距離搬送に対応し やすくなります。また、ドクターカーによる搬送も当セ ンターの専従医師により安全に行うことができるよう 現在整備をしています。しかし、地域で「重症」というこ とが認識されなければ我々が介入を開始することはで

きません。各地域で早期に「重症 | を認識し集約化する ためには、今まで以上に地域との緊密な連携が欠かせ ません。

4.おわりに

新病院移転後も地域の小児医療に携わる全ての皆さ まと協働して、北九州とその周辺地域のこども達が安 心して暮らせるための医療を提供するセンターを作っ ていきたいと考えています。今後とも宜しくおねがい します。

新病院アピールポイント③

新しい手術室 ハイブリッド手術室について

副院長 岡本



ハイブリッド手術室は高度な画像撮影装置(CTや MR、血管造影装置)とその処理装置が同部屋に常設さ れ、それらを使用して術中画像診断やガイド機能を利 用しながらカテーテル手技と通常の手術手技を組み合 わせたハイブリッド手術が可能な手術室のことです。

世界的にハイブリッド手術室の開設は広がってお り、本邦も例外ではありません。この手術室の活用は他 病院では大動脈疾患に対するステントグラフト挿入術 や大動脈弁狭窄症に対する経力テーテル大動脈弁置換 術、脊椎外科領域における低侵襲手術、脳血管内治療な どの手技に活用されています。当院ではそれに加え、当 院の特色である災害外傷、救急医療領域で遭遇する多 発外傷治療や、消化器外科疾患への応用も念頭に置き、 通常のハイブリッド手術室では高価なので配置しない バイプレーンの血管造影装置と高機能のCTを常設し、 その面積も大きめに設計したことです。この組み合わ せと広さは現時点では本邦では稀有です。ハイブリッ ド手術室を使用する利点は、入室後は他所へ移動する ことなく外科手術及び血管内治療を完遂できる点にあ ります。ハイブリッド手術室を象徴とした災害拠点病 院としての診療の充実が今後の目標となるでしょう。

最新鋭256列CT装置のご紹介

診療支援部 放射線技術課 満園 裕樹



この度の八幡病院新築移転に合わせ、従来のCT装置 2台(64列·16列)をそれぞれ256列および64列CT へと更新いたしました。なかでもGE社製256列CTス キャナー "Revolution CT" は、世界最高の1回転で 16cmという広い範囲を撮影可能であり、1スキャン最 速0.28秒という高速撮影と合わせて、心臓や乳幼児の 頭部撮影等はレントゲン撮影と遜色ない短時間(0.14 ~0.28秒)でスキャンし終える事が可能となりまし た。またこのRevolution CTは、最新技術 "デュアルエ ナジー撮影"を搭載しており、これにより図に掲載した ようなこれまでのCT装置では不可能であった様々な 特徴を、ほとんどすべての検査にて実現可能です。同時 に更新した富士フィルムメディカル社製画像診断ワー クステーション "SYNAPSE VINCENT" と合わせて、 これまで以上に詳細な3D画像の提供も可能となりま した。

放射線技術課では、この最新鋭CTを駆使し、これまで以上に安心して高精度な検査を提供していけるよう努めて参ります。



①従来の1/5の造影剤でも検査可能



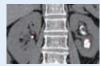


従来CT

デュアルエナジー撮

腎臓の機能が悪く、これまで造影検査が難しかった方や、 血管が脆く、あまり早く造影剤を注入できなかった方なども 高品位な検査ができる可能性が高まります。

②構成物質の推定が可能





従来CT

デュアルエナジー撮影

たとえば尿管結石の場合、これまでのCTでは存在自体しか 判らなかったものが、デュアルエナジー撮影では構成物質 の推定も可能です。これにより飲み薬でも治療可能な結石 かどうか等、高難度の判断をサポート可能です。

(上記の場合、どちらの結石も薬での治療は難しい)

③他の検査類似画像が作成可能







₹CT

デュアルエナジー撮影

MRI画像

これまでCT検査だけでは判断が付きづらく、他の検査を 受ける必要があった疾患の一部は、デュアルエナジー 撮影で類似画像を作成することで、次の精密検査を受 けるか否かの判断をサポートできます。

(上記は腰椎の新旧圧迫骨折の例 〇が新しい骨折)

④金属で見えなかった部分も観察可能





従来CT

デュアルエナジー撮影

一般的なCT検査では、観察場所に金属が存在すると 非常に見えづらくなりますが、新しい撮影法では金属 の影響を最小限に抑えることが可能です。

平成29年度 患者満足度調査

患者満足度調査「外来」について

ソフトアップ委員会 委員長 木戸川 秀 生

アンケート実施日時

平成30年2月20日(火)~22日(木)

調査対象

外来患者

回収枚数

353枚

調査項目及び集計結果



2. 待合室やトイレなどの











23%







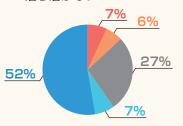
医師 について



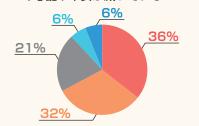




11.担当の医師がよく変わるので、 落ち着かない



12.診察や説明を受けて、病気について の心配や不安が減っている



13. 医師の指示や医師に伝えたことが、 看護師に伝わっていない





北九州市立八幡病院 http://www.yahatahp.jp

〒805-8534 北九州市八幡東区尾倉2丁目6番2号 TEL (代表) 093-662-6565 FAX 093-662-1796 (小児救急センター: 093-662-1759)



JR鹿児島本線: JR八幡駅から徒歩8分 西鉄バス: 八幡駅前から徒歩5分・ 市立八幡病院前から徒歩1分



八幡病院広報誌「さらくら」 第28号

2019年2月20日発行

発行・編集:八幡病院広報委員会 印刷: (株) ゼプロス TEL 093-616-9385